



春のオススメ本紹介

YA担当より

少しずつ暖かくなり、春が近づいてきていますね。

春は出会いの季節。YA書架を訪れて、あなたにぴったりの1冊を探してみませんか。



①

『13歳からの 手帳活用術』

はじめる！実力アップ習慣』

小澤 淳／監修
メイツ出版
YA書架 002ジ



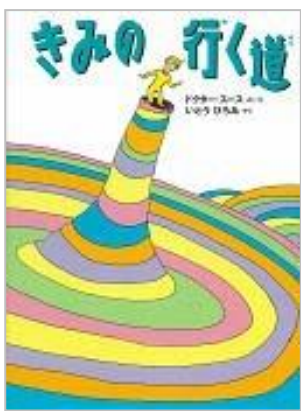
春から新しく手帳をつけてみませんか？
目標の設定や、上手な手帳の使い方を、写真やイラストを使ってわかりやすく説明しています。
中高生に向けて勉強を例に挙げ、成績アップにつながるための活用術が書かれていますが、「勉強」を「仕事」や「夢」に変えてみると、中高生以外の方にも応用できる、おすすめの1冊です。



②

『きみの行く道』

ドクター・スース／さく・え
いとう ひろみ／やく
河出書房新社
YA書架 ED



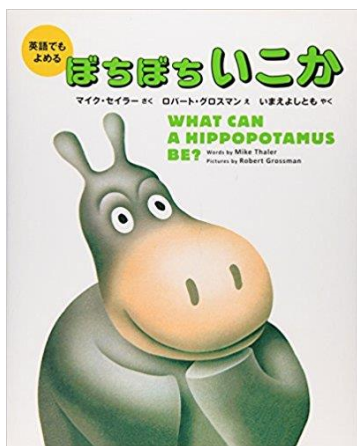
「おめでとう。今日という日は、きみのためにある。外の世界にむかってきみは、いま、出ていこうとしてるんです。」
生きているといろいろなことが起こります。進みたい道を決められない人もいるし、成功もすれば失敗もする。ときにはスランプに陥ることもある。そんなとき、この絵本はユーモアたっぷりにあなたの人生を応援してくれます。春から新生活を迎えるすべての人におすすめの絵本です。



③

『英語でもよめる ぼちぼちいこか』

マイク・セイラー／作
ロバート・グロスマン／絵
いまえ よしとも／訳
偕成社 YA書架 Eグ



この主人公のかばくんは、何になれるかな？と
いろいろな職業をためていきます。けれどなかなか上手
くいかなくて…。
新しいものに出会う春におすすめの絵本です。英語併記のこの絵本は、英語を勉強している中高生だからこそ、英文と翻訳された日本語の違いも、読む楽しみの一つです。
簡単な単語一つが、さまざまな大阪弁に訳されていることに、きっと驚きますよ。



④

『フリッチス ふしぎな色の旅』

ジラルド／作・絵
松本 乃里子／訳
無双舎 YA書架 Eジ



「フリッチス」はブラジル語の色の名前。カラフルで主張の強い色たちは虹や国旗など、いろいろな場所にいられるのに、目立たないフリッチスの居場所は街中のどこにもありません。
居場所を見つけられず傷ついたフリッチスは、ついに立ち止まります。そしてある場所へと…
「自分」って何だろう「探す」って何だろう。
新しい場所にとまどった時、手にとってみてほしい絵本です。

